



JA共済小・中学生
書道コンクール

学校教員の皆様へ

令和4年度 JA共済 小・中学生 書道コンクールのお知らせ



書道コンクールキャラクター
「キョジョー」
©2006 JA-KYOSAI



書写・書道は世界に誇る日本の伝統文化です。

書写・書道の“考えて書く”という学習過程を通して、生涯にわたって活用できる「書く力」を学ぶことができ、集中力を高め、落ち着きが得られるといった内面的な効果から、子どもを大きく成長させてくれます。

このコンクールに、クラスまたは学校で取り組んでみませんか？



コンクールに
込めた想い

次代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの気持ちを伝えと共に、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として、「書道コンクール」を開催しています。

「JA共済 小・中学生 書道コンクール」の特長

①これまでの応募数

約 **60,126,578** 点

重ねると約6,012メートル

※市販の書道用紙10枚を重ねた厚さを1mmとして換算

富士山の高さの
(約3,776メートル)

約 **1.5** 倍



②令和3年度の参加学校数

半紙の部

全国の小・中学校のうち

17,097 校



条幅の部

全国の小・中学校のうち

11,885 校



出典：文部科学省 令和3年度学校基本調査

③協賛・後援

省庁をはじめ、毎年多くの協賛・後援をいただいているコンクールです



令和3年度
文部科学大臣賞
愛知県 小学校5年
那須 大輝



審査員長の声

令和3年12月に書道が国の「登録無形文化財」に登録されました。日本の書道文化を未来へ繋ぐため、そして世界に誇れる日本の書道文化を広げるため、これからも児童・生徒のみなさんには書道を大事にしたいと期待しております。

日本芸術院会員・
日展理事
高木 聖雨氏



後援省庁の声

毛筆で文字を書くこと、それにより他者へ思いや気持ちを伝えることは、それ自体が文化です。日頃の学習をさらに進めて作品としてまとめることは難しいでしょうが、その過程で色々なことを考え、自分と向き合い、自分の中の大切な何かの変化に気づけたなら幸せなことです。日頃の努力、文字を大切にしている気持ちにあふれた作品を楽しみにしています。

文部科学省
初等中等教育局
教科調査官
豊口 和士先生



千葉県館山市立
館山小学校
教諭
山中 雅代先生

学校教員の声

このコンクールは、夏休みの自由課題として、毎年取り組んでいます。2学期の始業式に、作品を持ってきて、まわりの子ども達に「すごい」と驚かれたり、教師にも「頑張ったね」と褒められたりして、自分の頑張りを認めてもらえることが嬉しいようです。

本校では、各学年の書写を専科が担当し、書写教育の充実を図っています。書写教育は、美しい文字を習得するだけでなく、細かいところまでしっかりと書き写す力も求められ、子ども達の集中力を高めることにつながっているとします。

今年の課題や詳しい応募方法はコチラ

課題

小学生

学年	条幅の部	半紙の部	学年	条幅の部	半紙の部
第1学年	いろり	みち	第4学年	雪わり草	友達
第2学年	な か ま	ほたる	第5学年	緑の草原	喜びの歌
第3学年	竹とんぼ	ひまわり	第6学年	認め合う心	発芽の時

中学生

学年	条幅の部	半紙の部
第1学年	個性の尊重	蛍雪の功
第2学年	郷土の魅力	大願成就
第3学年	花舞う季節	農業技術

JA共済 コンクール 検索

<https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/>



全国コンクールの入賞品をご紹介します。ぜひ奮ってご応募ください。

条幅・半紙の部とも

都道府県コンクールにおいて
入選した各学年の最高位1点を
全国コンクールで審査します。

※賞品はイメージです。

大賞 賞状+副賞(クリスタル楕)



優秀学校賞 賞状+副賞(デジタルカメラ等)

農林水産大臣賞・文部科学大臣賞を受賞した者の在籍する学校に対して授与します。

学校賞 賞状+副賞(デジタルカメラ等)

特に書道コンクールに貢献のあった学校に対して授与します。その基準は「書道コンクール学校賞選定基準」によります。

